# AI駆動開発を1から実践して体験・体得講座【会場】（4126280）

見て分かることと手が動くこととの間には大きな溝があります。本研修では参加者全員が、自分のPC・自分が契約したツールで、小さな題材を1つ取り上げ、実際に生成AI駆動開発を駆使して実装します。1日目はバイブコーディングで限界を体験し、GitHub Spec Kit の実コマンドで仕様駆動に立て直します。2日目はその環境を改造し、ハーネスを組み上げます。

| | |
|---|---|
| 開催日時 | 2027年3月25日(木) 10:00-17:00会場<br>2027年3月26日(金) 10:00-17:00会場 |
| JUAS研修分類 | データ・AI活用・技術動向(IT利活用（ローコード、市民開発など）) |
| カテゴリー | IS導入（構築）・IS保守 専門スキル |
| DXリテラシー | What(DXで活用されるデータ・技術)：デジタル技術 |
| 講師 | 菅野聖人 氏<br>（ヒューマンハッカー株式会社　最高技術責任者 ）<br>在学中から複数社でエンジニアとして実務に携わり、米国と中国へ留学。<br>留学先の大連では車載システムの開発にも参画。ヤフー株式会社ではインターンとして参画したのち新卒入社し、フルスタックエンジニアとしてYahoo!ファイナンスの開発・運用を担当。<br>独立後は「デザイン×エンジニアリング」を軸に活動し、株式会社WEELではAIシステム開発のエンジニアリングおよびPMを担う。<br>2024年10月にヒューマンハッカー株式会社を創業。現在はAIモデルの学習データ生成基盤の開発に取り組む。 |
| 参加費 | JUAS会員企業/ITC：70,400円 一般：90,200円（１名様あたり　消費税込み、テキスト込み）【受講権利枚数2枚】 |
| 会場 | 一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会（NBF東銀座スクエア２F） |
| 対象 | システム部門の部長・課長／PM・PL／保守運用の責任者／情報システム部門のAI推進のご担当者 中級 |
| 開催形式 | 講義・個人演習 |
| 定員 | 25名 |
| 取得ポイント | ※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント） |
| 特記 | 当日いずれかの生成AIを搭載したパソコンをお持ちください |
| ITCA認定時間 | 12 |

## 主な内容

■受講形態
会場のみ（オンラインなし）
■テキスト
当日配布
■開催日までの課題事項
当日いずれかの生成AIを搭載したパソコンをお持ちください

AI駆動開発を1から実践して体験・体得講座
－自分の手で1周回して、自分の環境に持ち帰る

見て分かることと手が動くこととの間には大きな溝があります。
本研修では参加者全員が、自分のPC・自分が契約したツールで、小さな題材を1つ取り上げ、実際に生成AI駆動開発を駆使して実装します。
1日目はバイブコーディングで限界を体験し、GitHub Spec Kit の実コマンドで仕様駆動に立て直します。
2日目はその環境を改造し、ハーネスを組み上げます。

◆本セミナーの到達目標：
本セミナーを修了した時点で、受講者は以下の状態になります。
1. 指示だけで作る進め方が破綻する典型パターン（指示が通らない／直すと別が壊れる）を、自分の手で再現し、原因を言葉で説明できる

2. GitHub Spec Kit の一連のコマンドを自分のPC・自分が契約したツールで一周実行でき、仕様駆動開発の型を持ち帰れる
3. 検証ループ・境界・権限・ゲートを重ねて自分の環境にハーネスを組み上げ、継続的に育てる観点を持てる
4. 自部門にAI駆動開発を導入する際の適用範囲・体制・リスクを自分の言葉で説明でき、次の一手を計画できる

◆主な講義内容：
1. 指示だけで作り、限界まで進む —— 指示が通らない／直すと別が動かない、を各自が踏む
2. specify init → /speckit.constitution → specify → clarify → checklist → plan →tasks → analyze → implement を実コマンドで一周
3. 検証ループで足場を足し、境界・権限・ゲートを重ねる（ハーネスに完成はない、を形にする）
4. 最終章：足場が揃った先の運用 —— 人の仕事が「作る」から「削る」へ移るフェーズまで

◆事前準備は不要 —— セットアップは当日、会場で一緒に行います

◆特記
当日いずれかの生成AIを搭載したパソコンをお持ちください